

プレジャーキャンプ～徳地の森で感動を～

令和2年9月12(土)～13日(日)

【目的】 自然体験活動を通して喜びや感動を味わうことで、豊かな心の醸成を図り、ストレスオフな状態を保つとともに、さまざまな体験活動に対する意欲・活力向上の一助とする。

【参加者】 小学生9名

【プログラムの内容】

1日目

- 13:30 はじめの会
- 13:40 なかよくなる活動
- 14:00 お気に入りの焼板細工を作ろう
- 17:30 夕食
- 19:00 星空を見あげよう

2日目

- 4:00 起床
- 4:40 登山→天候悪条件のため早朝散歩
- 10:00 アドベンチャーコースにチャレンジ
- 13:30 おわりの会

はじまりの会／なかよくなる活動



何度も本所を利用したことがある子どもも多く、子どもたち同士が自然と会話を始める様子があった。活動中の関わり合いも積極的で、緊張していた子どもも少しずつ初めて会う人とのゲームを楽しんでいた。

お気に入りの焼板細工を作ろう



自分たちで薪を割り、自分たちで火をつけ、板を焼いた。焼き具合や装飾を自由に決めて作り上げていく行程を楽しんでいる様子が見られた。燃え上がる火の熱に表情を歪める時もあれば、納得のいく飾付ができた時の満足げな表情があった。年下の子の作業を手伝ったり、お互いの作品に感想を伝え合ったりと関わり合いながらも活動に没頭する時間が流れた。

天体観察～星空を見あげよう～



天候が優れずスライドを使っの星の話からスタートした。惑星や星座の話に興味津々に聞いている間に晴れ間が見え始めたため、510mm 望遠鏡を使っの観察に喜びの声が上がった。実物の土星の輪にまた歓声が上がった。

早朝散歩（登山中止）



早朝4時の起床時間にも関わらず、登山への意欲に自分たちで目を覚ましていた。日の出が見れることを願い、登山口まで歩を進めたが、前日からの雨と霧により早朝登山を断念した。残念そうな表情と声が見れたが、大原湖ビューポイントを目指すことにした。

少しずつ明るくなる中に見えてきた大原湖にみんなで「ヤッホ！」と何度も声を上げていた。上り下りがある道を歩き、見れた景色に喜びと満足度も高い様子であった。

アドベンチャーコースにチャレンジしよう



早朝散歩の後、軽い睡眠と朝食をとり、高さ6mに設置された丸太を歩くコースにチャレンジした。「やるぞ」という表情でチャレンジする姿や一歩踏み出せないメンバーに声を掛け合っていた。自分で決めた目標の位置まで進み、「もう少し、もう少し」と最後まで達成したり、一度は上る途中で断念するも、みんなのチャレンジを見て再度チャレンジしたりする子どもの姿が見られた。

【参加者の声】

「日の出は見られなかったけど、大原湖が見られて嬉しかった」、「木星と土星がいっぱい見られて感動した」、「高い所は苦手だけど勇気を出したらできた、最初からできないと決めつけなくてやってみることが大切だと思った」

【成果】

全体満足度は全員が「4」であった。様々な自然体験を純粋に楽しんでおり、活動に取り組む姿や感想からもその様子が伺えた。少人数の参加だったこともあり、感染症対策及び体調の変化を把握しながら事業を運営することができた。

【課題】

天候に左右される活動に不安を感じる参加者がいた。十分な説明や興味をひく雨天時の活動プログラムの設定が必要であった。